

しが 県博協だより

第29号

滋賀県博物館協議会

しが県博協だより第29号は、本年創立35周年を迎える県博協の記念事業について、また、昨年度開催した2回の研修事業「美術館・博物館施設と観光の連携—長浜市旧街地域を中心に」（見学会）および「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」（講演会）と平成28年度永年勤続者等表彰事業の報告、合わせて昨年度本協議会に新規加盟した館の紹介を掲載いたします。

創立35周年記念事業について

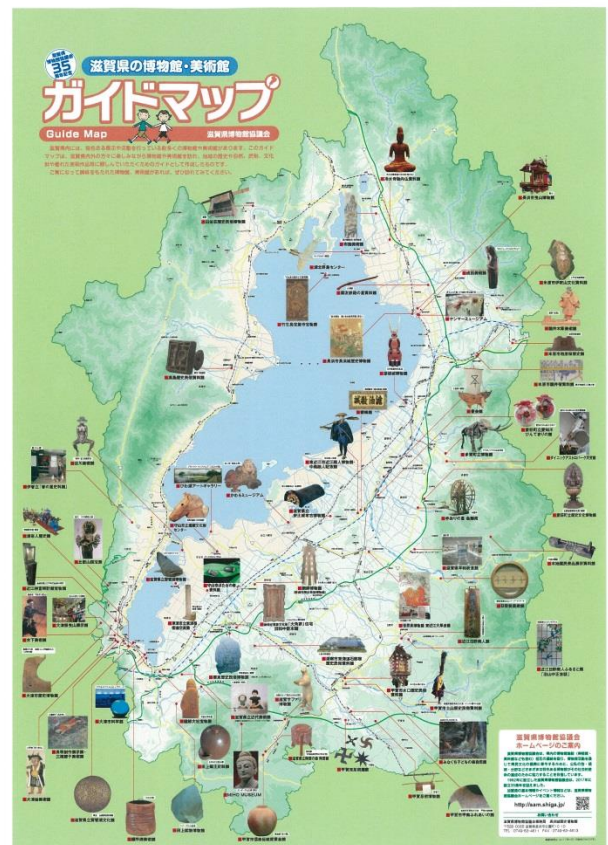
平成29年（2017）に県博協が創立35周年を迎えたことを記念して、多くの方に滋賀県の博物館施設にご来館いただけるよう、県博協加盟館を紹介したポスターを制作しました。本ポスターは滋賀県の地図に各博物館施設の名称と代表する作品を表示し、どのような博物館がどこにあるのか一目でわかる内容となっています。加盟館にて掲出していただき、さらに県内各地の図書館などの文化施設のほか、大学、観光施設、道の駅などにも配布し、掲出を依頼しました。また、平成29年度には、「博物館の楽しみ方」というテーマで記念講演会を開催することを予定しています。今後とも皆様のご協力をお願いします。

（記念事業委員・野洲市歴史民俗博物館 齊藤 慶一）

紹介したポスターは次のアドレスよりダウンロードすることができます。 PDF (3.33 MB)

<http://sam.shiga.jp/images/35th-guidemap.pdf>

※ダウンロードしたポスターは自由に掲示していただいても構いませんが、無断で他のものに転載しないでください。



滋賀県の博物館・美術館ガイドマップ（ポスター）

平成28年度 研修事業実施報告

第 1 回 研修事業

見学会

「美術館・博物館施設と観光の連携

—長浜市旧市街地域を中心に—

A. 趣 旨

美術館・博物館は、展示や収集、保存を行う教育・研究施設でありながら、地域の観光資源としても大きな役割を担っている。美術館・博物館にとっても、観光客の訪問は入館者数アップにつながり、多くの来館者に展示を鑑賞してもらうチャンスでもあるが、博物館施設と観光の充実した連携はなかなか難しいのが現状である。

この見学会では、平成元年（1989）にオープンした「黒壁スクエア」を中心に多くの観光客を集め賑わっている長浜旧市街地域とその周辺の美術館・博物館を訪問し、観光と美術館・博物館の連携について見識を深めることを目的とした。

B. 日 時 平成 28 年 11 月 21 日（月） 10:00～16:00

C. 会 場 長浜市長浜城歴史博物館
長浜市曳山博物館

D. 参加者 24 名（19 館）

【講演①】 概要

講師：長浜市曳山博物館 館長 中島 誠一 氏



中島 誠一 氏 講演

1. はじめに

長浜市では、昭和 58 年（1983）4 月、長浜城（長浜城歴史博物館）が市民からの寄付をもとに再興されるとともに、これを祝い「出世祭り」と銘打った各種のイベントが繰り広げられるようになった。その翌年「博物館都市構想」が策定され、その後 10 年間のさまざまなまちづくりの展開を経験し、平成 6 年（1994）3 月に「新・博物館都市構想」が策定された。そして平成 12 年（2000）、旧市街地に長浜市曳山博物館が

開館した。

その間、旧長浜駅舎鉄道資料館（長浜鉄道スクエア）や国友鉄砲の里資料館などが次々とオープンし、平成 28 年（2016）現在、博物館・資料館をはじめとする長浜市の歴史文化施設の数、市の直営、指定管理者制度など種々の経営形態をとりながら、長浜市歴史遺産課を管理原課として、直営 4 館、指定管理 5 館、施設貸付 2 館の合計 11 館となっている。

2. 曳山博物館とまちづくり

曳山博物館は、長浜市の誇りである国指定重要無形民俗文化財「長浜曳山祭の曳山行事」を総合的に展示し、伝承していくことを目的としている。また、長浜旧市街地活性化とまちづくりに役立つ施設となることも期待され、市民と協同し地域づくりや地域イベントなどに施設を活用している。歌舞伎の上演も可能な「伝承スタジオ」を完備し、曳山の修理ができる「曳山修理ドッグ」もあり、ここでは地元の職人が伝統の技を振り、自らの手で曳山を修理、保全している。まさに「まちづくりの核＝曳山祭の保全伝承」たるべき施設となっている。

ところが、賑わうまちなかに立地するという好適地にありながら、意外に入館者数は伸びない。良い展示をしてお客様を満足させればよいのだが、なかなかうまくいかないのが本音である。年間をとおして、まちなかでは多数のイベントを開催しており、観光客は多いが、博物館の来館には繋がっていない。曳山博物館は、「曳山」という個性を売りにしている施設なので、イベントの有無に関わらず、曳山の魅力に感動して帰るお客様が多いと感じている。

また、NHK 大河ドラマで、長浜に関連のあるテーマが選ばれると、市・館をあげて「大河博覧会」を盛り上げており、観光客の誘致に大きな効果をあげている。しかし、大河ドラマだけに頼ってしまうと、その年は観光客が多いが、翌年は減ってしまうという状態になってしまい、本当にそれで良いのか？という疑問が残る。



長浜市曳山博物館見学会

3. おわりに

地方博物館によるまちづくりは、まずは住民に愛されること、住民を魅せる展示を行い来館してもらうこ

とが重要である。それも、まちの魅力を再認識してもらえるような展示が望ましい。これはあきらかにまちに住む人たちの自信に結びつき、時間はかかるがまちづくりに反映されるはずである。そのような取り組みを行いながら観光客にも来てもらえればそれに越したことはない。観光客を呼ぶことだけに奔走するのではなく、まちの個性を活かした活動が重要である。

【講演②】概要

講師：長浜市長浜城歴史博物館 館長 太田 浩司 氏

1. 長浜というまち

昭和 59 年（1984）3 月に策定された「博物館都市構想」が長浜のまちづくりに多大な影響を与えた。「美しく住む」「市民総学芸員制度」「伝統を現代に生かす」が基本理念で、エコミュージアムの思想と類似している。「地域全体を博物館と見立てる」という考え方である。現在の長浜市民には、歴史を大切にしようという風土があり、市には歴史・文化に比較的理解のある方が多い。これは「博物館都市構想」のおかげだと思っている。

昭和 58 年（1983）開館の長浜城歴史博物館は市民に望まれて作られた博物館で、「長浜まちづくりのきっかけ」となっている。また、平成元年（1989）にオープンした「黒壁スクエア」は長浜の観光の中心となっているが、これは、第 3 セクターではあるが民間主導だったこと、行政が口を出さず自由なアイデアで歴史館ではなくガラス館としたことが、今でもたくさんのお客様を集める成功の要因である。



太田 浩司 氏 講演

2. 孤立しない博物館、学芸員を目指して

博物館は、大前提として、学術性・専門性が必要であるが、市民・行政・地域などの社会とのつながりを大切にして運営していくことが重要である。

長浜城歴史博物館は「市民と共に歩む博物館」として、「友の会」による展示解説ボランティアの導入や、「友の会」と一体となった講座運営、企画・運営ボランティアの導入など、運営自体に市民にかかわってもらっている。また、市の政策を先取った観光施策の立案協力、大河ドラマ運動企画への参加、歴史の話の中に人権の話を取り入れた講座を学芸員が行なうなど、他部局との連携も行なっており「行政と共に歩む博物

館」でもある。さらに、「地域と共に歩む博物館」として、秀吉公ゆかりの石碑・石柱建立などまちなかを博物館にする発想で、エコミュージアム構想の具体化を行なっている。また、NPO 法人まちづくり役場と連携したイベントにも積極的に参加し、周辺地域との連携を強めている。これは「地域に人が来ない限り、博物館には人が来ない」という考えに基づくものである。



長浜城歴史博物館見学会

3. おわりに

学芸員は地域のプロデューサーになる必要がある。博物館の中のことだけをするのではなく、博物館を起点として地域づくりに参加すべきである。人とのつながりが大切で、それが新たな「地域づくり」の波を起こす。地域のことを、時代的にも空間的にも、広く・深く知ることが重要である。それにより、問題を先取りし、博物館として、何をすべきかを考えることができる。大河博覧会はお客さんが増える一方翌年の来場者減など、賛否両論あるが、「人の輪」を作ることができる良い場となっている。社会の中で博物館が生き残っていくには、市民・行政・地域などの社会とのつながりが必要である。

【講演③】概要

講師：NPO法人「まちづくり役場」山崎 弘子 氏



山崎 弘子 氏 講演

「まちづくり役場」は「まちの水準を上げていく」ことを目的として黒壁スクエア周辺のまちおこしをしている。平成 8 年（1996）の「秀吉博覧会」のテーマが「フィナーレからプロローグへ 次のまちづく

りの一步を踏み出そう」で、その事務局が今の「まちづくり役場」となった。今では、まちおこしの成功事例として視察が絶えず、海外からの施設も含めて4,000近い団体の視察受け入れを行なっている。

まちづくり役場は、地域と連携していくことが重要と考え、様々なイベントを開催している。例えば、商店街のお店やお家で大事にしてきたお雛様を、観光客から見えるところに飾ってもらうという「長浜のお雛様めぐり」。小さなイベントだが、1ヵ月根気よくやったら、ツアーバスが来るようになった。これをきっかけに、「5月人形めぐり」、長浜城さんと連携した「引き札めぐり」なども行なうようになり、まちの恒例イベントとなっている。その他、学生の研究と連携し、まちに残る伝統的な「庭」を紹介する「ながはまのお庭」プロジェクトも実施している。

長浜の強みは、「地域のつながり」である。地域・歴史・文化に恵まれた長浜は、まちや人の気質や情熱がうまくかみあって、「まち」と「博物館」がうまく連携できている。

文化情報発信しないまちに人は来ない。まちづくり役場は、情報発信基地として、地域や人をつなぐネットワーク機能として、これからも情熱を傾け活動していきます。

(広報委員・ヤンマーミュージアム 伊東 妃李子)

第2回研修事業

講演会

「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」

講師：学校法人 近畿大学

広報部長 世耕 石弘 氏

A. 趣 旨

学校法人近畿大学・広報部長の世耕石弘氏をお招きし、博物館・美術館における広報活動のヒントとして、近年の近畿大学における広報戦略について話を伺った。

B. 日 時 平成29年1月19日(木) 14:00~16:00

C. 会 場 大津市歴史博物館

D. 参加者 30名



世耕 石弘 氏 講演

【概要】

○近畿大学のキャッチコピーとしてもっとも有名なのは「マグロ大学」だろう。近畿大学は総合大学であるため各学科・研究室が完全に異なる研究をしており、大学の説明がしにくい、というジレンマがあった。そのため、創設以来実学主義を理念とする近畿大学らしさがよく表れた、世の中に響くトピックである「マグロ」を全面的に押し出して広報を行い、大きな効果を得た。

○2018年を境に18歳の人口が減り始め、大学志願者の総体数が減少していく。そのため、広報戦略が上手くできなければ、大学が経営難に陥る。「入れ替えなきリーグ戦」と呼ばれるように、大学に対する価値観は固定化している。そのため、戦略的かつ効果的な広報活動により、大学の魅力を伝えていく必要がある。

○新しい広報活動がそのまま志願者増に直結するかは微妙なところ。しかし、マスメディアにうまくとりあげてもらえる活動を行うことで、近畿大学を知らない層に大学の存在そのものをアピールする「広報ファースト」という考え方を採用した。

○初めての挑戦は必ず批判されるものだが、その分メディアでは大きく取り上げられる可能性もある。例えば、インターネットによる出願は近畿大学がはじめて行ったことで、画期的な取組みとして全国版の新聞でも大きく取り上げられた。願書といえば郵送が当たり前だったが、今ではネット出願は多くの大学が行っている。近大が、新しいスタンダードをつくったのだ。他にも、学術案内を一切省いた大学案内や、芸能人を招いた入学式、アイドルのPVのような大学紹介ビデオなど、「大学広報はこうあるべき」という常識にとらわれない広報を行った。その結果、現在では大学の志願者が日本で一番になった。

○インターネット社会の今日、常識と非常識は常にひっくり返る。常識をいつも疑うことが大切。

○広報戦略で大切なことは、伝えたのではなく「伝わった」か、である。情報発信は誰でもできるが、何を伝えるのか柱を持ち、コミュニケーションとしての広報を行うことが必要である。

【総括】

「この分野の広報はこうあるべき」という固定概念をほだき、世の中にしっかりと届く広報を行うことの大切さを学んだ。近畿大学の広報はすべて自前で行っており、広告代理店を介さずともこれほどの認知度を上げているとは、驚くべきことである。少数のチームでも上手く連携を取り、SNSやYouTubeなど多くの人に届きやすい媒体を効果的に使いながら、フットワーク軽く新鮮な話題を提供することの面白さ、重要性を感じた講演会だった。

(広報委員・滋賀県立近代美術館 渡辺 亜由美)

平成28年度 永年勤続者等表彰

平成28年度の滋賀県博物館協議会表彰は、世界風博物館東近江大風会館の小笠 美穂（おがさ みほ）さんが受賞されました。

小笠さんは、平成17年（2005）5月の採用以来、長年にわたり来館者対応やワークショップ指導、施設運営、展示会活動などに従事されてきました。来館者からは、館内の説明や近隣の観光情報案内について、「丁寧でわかりやすい」と高い評価を受け、職員の模範的・中心的な存在になられています。

（事務局・長浜市長浜城歴史博物館 福井 智英）

新規加盟館紹介

近江日野商人ふるさと館 「旧山中正吉邸」



所在地	〒529-1628 蒲生郡日野町西大路 1264
電話番号	0748-52-0008
FAX	0748-52-3850
ホームページ	http://www.hinofurusatokan.jp/
休館日	毎週月・火曜日、休日の翌日 年末年始(12/29～1/4)
開館時間	午前9時～午後4時
入館料	大人 300 円、小中学生 120 円
交通案内	JR 琵琶湖線「近江八幡」駅 または近江鉄道「日野」駅から バス「北畑口」行にて「向町」下車、 徒歩 2 分 名神「八日市 IC」から車で 25 分
駐車場	50 台 大型可

館の概要 「日野商人の暮らしや歴史に触れる」

当館は、富士宮（静岡県富士宮市）で酒造業を営んだ山中正吉家の旧本宅の保存・継承をはかりながら、日野町の歴史や文化に関する史資料の保存・活用と、それらを活かした体験や交流、情報発信の場として平成27年4月1日に開館しました。

広大な敷地内に建ち並ぶ様々な建物は平成27年3月31日に日野町の文化財に指定されており、そのうち主屋・座敷棟・洋間棟・新座敷棟・浴室棟が公開されています。仁正寺藩主の市橋家から土地を拝領し、江戸時代末期に建てられたと伝わる主屋は、この地方の農家の形式を踏襲しており、接客の場である座敷棟も釘隠などの意匠に凝りながらも素朴な仕上げとなっています。一方、大正15年に棟上げされ、広い庭に面する新座敷は数寄屋風書院造となっており、本格的な洋室やシャワーを備えステンドグラスがあしらわれた浴室が設けられるなど、当主の趣味や教養を垣間見ることができます。

（滋賀県博物館協議会ホームページより）

【編集後記】

平成28年度は、前年の会則改正を受けた会長改選がなされ、それに伴い事務局が滋賀県立琵琶湖博物館から長浜市長浜城歴史博物館へ移転するという、県博協にとって大きな変化の年となり、県博協は新たな一歩を踏み出しました。

ただ、研修事業では、毎回興味深い旬のテーマを取り上げておりますが、会場に対し参加人数にはまだまだ余裕もあり、また県博協ホームページからの情報発信の利用も限定的です。

委員一同、加盟館のみなさまが会費以上のメリットを感じて頂けるよう鋭意努力する所存ですので、35周年を迎える本年を機に、積極的な会へのご参加とさらなるご支援ご協力、またご意見などをお寄せくださいますようお願い申し上げます。

（広報委員・MIHO MUSEUM 桑原 康郎）

しが県博協だより 第29号

平成29年（2017年）6月14日発行

編集・発行 滋賀県博物館協議会

〒526 - 0065長浜市公園町10 - 10

長浜市長浜城歴史博物館内

TEL 0749-63-4611

URL <http://sam.shiga.jp/>

滋賀県博物館協議会 加盟館一覧

平成29年(2017年) 6月14日

名称	〒	所在地	TEL	FAX
近江神宮時計館宝物館	520-0015	大津市神宮町 1-1	077-522-3725	077-522-3860
大津市歴史博物館	520-0037	大津市御陵町 2-2	077-521-2100	077-521-2666
大津絵美術館	520-0036	大津市園城寺町 33 番地 総本山円満院門跡	077-522-3690	077-522-3150
長等創作展示館・三橋節子美術館	520-0035	大津市小関町 1-1	077-523-5101	077-523-5101
大津祭曳山展示館	520-0043	大津市中央 1-2-27	077-521-1013	077-521-1013
滋賀県立琵琶湖文化館	520-0806	大津市打出浜地先	077-522-8179	077-522-9634
渡来入歴史館	520-0051	大津市梅林 2-4-6	077-525-3030	077-525-3450
公益財団法人 膳所焼美術館	520-0837	大津市中庄 1-22-28	077-523-1118	077-523-1118
建部大社宝物殿	520-2132	大津市神領 1-16-1	077-545-0038	077-545-2438
滋賀県立近代美術館	520-2122	大津市瀬田南大萱町 1740-1	077-543-2111	077-543-4220
田上郷土史料館	520-2112	大津市牧 1-8-32	077-549-0369	077-549-0369
田上館博物館	520-2275	大津市枝町 3-8-4	077-546-1921	077-546-1921
公益財団法人 木下美術館	520-0016	大津市比叡平 2-28-21	077-575-1148	077-575-1148
比叡山国宝殿	520-0116	大津市坂本本町 4220	077-578-0001	077-578-0678
伊香立「香の里史料館」	520-0352	大津市伊香立下在地町 1223-1	077-598-2005	077-598-2005
大津市科学館	520-0814	大津市本丸町 6-50 生涯学習センター内	077-522-1907	077-522-2297
草津市立草津宿街道交流館	525-0034	草津市草津 3-10-4	077-567-0030	077-567-0031
滋賀県立琵琶湖博物館	525-0001	草津市下物町 1091	077-568-4811	077-568-4850
守山市ほたるの森資料館	524-0051	守山市三宅町 10 市民運動公園内	077-583-9680	077-583-9680
守山市立埋蔵文化財センター	524-0212	守山市服部町 2250	077-585-4397	077-585-4397
公益財団法人 佐川美術館	524-0102	守山市水保町北川 2891-44	077-585-7800	077-585-7810
栗東歴史民俗博物館	520-3016	栗東市小野 223-8	077-554-2733	077-554-2755
国指定重要文化財「大角家」住宅 旧和中散本舗	520-3017	栗東市六地藏 402	077-552-0971	077-552-0971
野洲市歴史民俗博物館(銅鑄博物館)	520-2315	野洲市辻町 57-1	077-587-4410	077-587-4413
びわ湖アートギャラリー	524-0292	野洲市吉川 4187 鮎家の郷内	077-589-4883	077-589-4769
湖南省東海道石部宿歴史民俗資料館	520-3116	湖南省雨山 2-1-1	0748-77-5400	0748-77-5401
菩提寺歴史文化資料室 (菩提寺まらづくりセンター内)	520-3248	湖南省菩提寺西 4-2-12	0748-74-3471	0748-74-4005
甲賀市水口歴史民俗資料館	528-0005	甲賀市水口町水口 5638	0748-62-7141	0748-63-4737
みなくち子どもの森自然館	528-0051	甲賀市水口町北内貴 10	0748-63-6712	0748-63-0466
甲賀市土山歴史民俗資料館	528-0211	甲賀市土山町北土山 2230	0748-66-1056	0748-66-1067
甲賀忍術博物館	520-3405	甲賀市甲賀町隠岐 394	0748-88-5528	0748-88-2108
甲賀流忍術歴史館	520-3311	甲賀市甲南町龍法師 2331	0748-86-2179	0748-86-7505
甲賀市甲南ふれあいの館	520-3321	甲賀市甲南町葛木 925	0748-86-7551	0748-86-7551
公益財団法人 滋賀県立陶芸の森 陶芸館	529-1804	甲賀市信楽町勅旨 2188-7	0748-83-0909	0748-83-1193
甲賀市信楽伝統産業会館	529-1851	甲賀市信楽町長野 1142	0748-82-2345	0748-82-2551
MIHO MUSEUM	529-1814	甲賀市信楽町田代桃谷 300	0748-82-3411	0748-82-3414
滋賀サファリ博物館	529-1802	甲賀市信楽町黄瀬 2854 番地 2	0748-83-0121	0748-83-0122
かわらミュージアム	523-0821	近江八幡市多賀町 738-2	0748-33-8567	0748-33-8722
滋賀県立安土城考古博物館	521-1311	近江八幡市安土町下豊浦 6678	0748-46-2424	0748-46-6140
近江日野商人館	529-1603	蒲生郡日野町大窪 1011	0748-52-0007	0748-52-0172
近江日野商人 ふるさと館「旧山中正吉邸」	529-1628	蒲生郡日野町大字西大路 1264	0748-52-0008	0748-52-3850
世界風博物館東近江大風会館	527-0025	東近江市八日市東本町 3-5	0748-23-0081	0748-23-1860
木地屋民芸品展示資料館	527-0201	東近江市蛸谷町 178	0748-29-0430	0748-29-0430
財団法人 日登美術館	527-0231	東近江市山上町 2068-2	0748-27-1707	0748-27-1950
東近江市近江商人博物館	529-1421	東近江市五個荘竜田町 583	0748-48-7101	0748-48-7105
鶴峰館	529-1421	東近江市五個荘竜田町 136	0748-48-4141	0748-48-5475
滋賀県平和祈念館	527-0157	東近江市下中野町 431	0749-46-0300	0749-46-0350
手おりの里、金剛苑	529-1204	愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131	0749-37-4131
愛荘町立歴史文化博物館	529-1202	愛知郡愛荘町松尾寺 878	0749-37-4500	0749-37-4520
愛荘町立愛知川びんてまりの館	529-1313	愛知郡愛荘町市 1673	0749-42-4114	0749-42-8484
財団法人 豊会館	529-1174	犬上郡豊郷町下枝 56	0749-35-2356	-
多賀町立博物館	522-0314	犬上郡多賀町四手 976-2	0749-48-2077	0749-48-8055
ダイニクアストロパーク天究館	522-0341	犬上郡多賀町多賀 283-1	0749-48-1820	0749-48-1961
彦根城博物館	522-0061	彦根市金亀町 1-1	0749-22-6100	0749-22-6520
米原市醒井宿資料館	521-0035	米原市醒井 592	0749-54-2163	-
醒井木彫美術館	521-0035	米原市醒井 95	0749-54-0842	0749-54-0842
米原市柏原宿歴史館	521-0202	米原市柏原 2101	0749-57-8020	0749-57-8020
伊吹山文化資料館	521-0314	米原市春照 77	0749-58-0252	0749-58-0252
長浜市長浜城歴史博物館	526-0065	長浜市公園町 10-10	0749-63-4611	0749-63-4613
成田美術館	526-0056	長浜市朝日町 34-24	0749-65-0234	0749-65-0234
長浜市曳山博物館	526-0059	長浜市元浜町 14-8	0749-65-3300	0749-65-3440
国友鉄砲の里資料館	526-0001	長浜市国友町 534	0749-62-1250	0749-62-1250
竹生島宝蔵寺宝物殿	526-0124	長浜市早崎町竹生島 1664-1	0749-63-4410	-
湖北野鳥センター	529-0365	長浜市湖北町今西	0749-79-1289	0749-79-8022
冷水寺胎内仏資料館	529-0251	長浜市高月町宇根 308-1	0749-85-3209	0749-85-3209
財団法人 布施美術館	529-0205	長浜市高月町唐川 339	0749-85-2363	0749-85-2363
ヤンマーミュージアム	526-0055	長浜市三和町 6-50	0749-62-8887	0749-62-8780
白谷荘歴史民俗博物館	520-1837	高島市マキノ町白谷 343	0740-27-0164	0740-27-1000
高島歴史民俗資料館	520-1111	高島市鴨 2239	0740-36-1553	0740-36-1554